



第13回評議委員会 2月26日(月) 県立美術館別館

★15周年大会 中村 勲 新会長体制の大結集

平成29年度・第13回評議委員会(総会)は2月26日(月) 県立美術館別館で午後1時30分より総勢18名の参加で活動経過報告、決算報告、平成30年度活動計画、予算案に会則改定、ボランティア保険金改定を審議拍手で承認。その執行役員に **中村勲新会長**を選出。15周年記念事業と20周年までを見据えた7大事業の推進を確認した。東京唯一継承の崇高な「童謡唱歌を次世代」への使命と、非営利団体としての「幸運と感謝」の責務としてを合せて、中村新会長を中心に一丸体制を構築する決意をした



第13回評議委員会参加皆様で記念写真

各会場代表が順番に報告をする様子

挨拶する中村勲新会長プロフィール
 生年・昭和16年6月 76歳
 場所・金沢市7人兄弟姉妹の3男
 特技・毛筆年1万通、カラオケ6段位
 信条・初心忘れず謙虚で基本に忠実
 座右銘 至誠通天
 経歴 市会議員 3期 12年
 県議員 5期 20年
 各委員長・副議長、議長
 全国都道府県議長会・副議長など



歌唱指導講師太郎田まり先生に休憩時間を利用して有志の会が後援推薦書を手渡いたしました。



議案を真剣に検討や発表する様子

★ 7大活動方針

- 1、秋の大愛唱大会
- 2、県民愛唱300選選出
- 3、県巡回愛唱大会
- 4、15周年記念事業
- 5、全国童謡唱歌大会
- 6、オリンピック大合唱
- 7、終活と音楽葬

★ 15周年記念事業案

- 1、15周年記念大会
- 2、感謝状贈呈(個人及び団体)
- 3、記念ゲスト
- 4、打ち上げパーティ
- 5、歌碑除幕
- 6、記念誌 15年の歩み
- 7、記念交流
- 8、記念研修旅行
- 9、記念品「櫻コースター」
- 10、表敬訪問
- 11、県民愛唱300選
- 12、県巡回愛唱大会
- 13、全会員アンケート

県文化振興事業

※ 長野より30周年大会記念写真届く ※ 第7会場 文化庁日本の歌歌い続けて10周年



空襲被害 (都道府) 一覧表

織田三乗

日本列島空襲戦災誌

水谷鋼一

		人員被害		建造物
		死者	傷者	焼失倒壊
◆広	島	86,141	61,066	102,176
◆長	崎	26,238	43,060	32,989
東	京	97,031	119,957	713,366
神	奈	6,637	16,202	148,243
愛	知	11,324	15,796	183,626
大	阪	11,089	23,347	343,927
兵	庫	11,246	21,619	206,324
北	海	448	427	4,274
青	森	931	897	10,380
岩	手	120	64	5,863
宮	城	1,170	2,018	12,821
秋	田	73	19	154
山	形	16	37	110
福	島	770	462	1,912
茨	城	2,327	3,145	33,169
栃	木	543	1,181	4
群	馬	1,109	1,538	15,278
埼	玉	713	963	5,568
千	葉	1,691	1,945	16,675
新	潟	1,188	472	12,746
富	山	2,174	3,801	22,984
石	川	0	0	1
福	井	1,758	1,921	25,740
山	梨	1,027	1,085	18,080
長	野	29	41	170
岐	卓	1,377	1,094	27,695
静	岡	6,223	9,589	93,958
三	重	3,600	3,749	36,873

		人員被害		建造物
		死者	傷者	焼失倒壊
滋	賀	101	86	373
京	都	111	270	531
奈	良	68	122	92
和	山	1,796	5,241	31,190
鳥	取	0	0	645
島	根	18	6	12
岡	山	1,782	1,251	25,717
山	口	2,554	4,031	18,880
徳	島	578	1,660	18,151
香	川	927	1,220	18,953
愛	媛	1,346	2,219	28,372
高	知	647	1,098	14,096
福	岡	4,623	5,011	54,920
佐	賀	225	192	599
熊	本	1,000	1,039	14,211
大	分	550	537	4,491
宮	崎	708	559	9,529
鹿	島	3,719	2,267	34,803
計		29,774	66,503	367,287
		66,503		2,361,906

- ◆原爆
- ◆傷者のうちに行方不明者ふくむ
- ◆焼失、倒壊家屋のうち半焼、半壊ふくむ

昭和二十二年五月に発足した経済安定本部が、昭和二十四年四月に「太平洋戦争による我が国の被害総合報告書」を発表した。
 「第一部・人的被害」の「第一・犠牲人口の被害」である。この統計は昭和二十二年から二十四年の二年間、経済安定本部が、かぎられた条件の中で全力をかたむけて作成したものであるが、戦後のためとさまざまな不利な条件のため、残念ながら、正確なものとはいえない。尚、下表のうち、建造物被害数は昭和二十三年五月、前記本部総務官房企画部調査課の調査である。この二つを下記のように、故水谷鋼一氏がまとめたものである。
 一方、水谷ノートは、政府・軍関係者が隠蔽していた極秘情報で、限られた条件の中でも出来るかぎり記録している。